

200H3501

ウィンドブルック

～完全なる種雄牛～
前編



<ホルスタイン ジャーナル誌 2012年8月号>

幅広い魅力と人気を満喫しているカナダの種雄牛がジレット ウィンドブルック (EX95) である。体型及びLPIランキングで上位に位置するこの種雄牛は、魅力的なアウトクロス血統だけでなく、一貫性があり、数多くの交配プログラムに適応し得る万能な成績をブリーダーに提供する。

ウィンドブルックを選択したシーメックスのサイアーアナリスト、ジュリアン シャボアは「ウィンドブルックは、その非常に豊かなペディグリーから受け継いだ全ての最も優れた要素を提供する完全なる種雄牛」と話す。



アウトクロスのペディグリー

オンタリオ州ゲルフに所在するシーメックス アライアンス社によって所有されるウィンドブルックは、ファームジレット (カナダ オンタリオ州エンブラン) とティーウェーブ ホルスタインズ (日本 北海道) によって繁殖された。彼のペディグリーを見る人はウィンドブルックの父と母が彼と同じ冠名「ジレット」を持つことから、すぐに彼が何か特別な存在であることを知る。ウィンドブルックの父は 200H3218 ジレット ブライリー エフビーアイ (EX94-Extra) で、このエムトトを父に持つ種雄牛はシーメックスで長いキャリアを築いた。エフビーアイの母は、ベルウッドによるジレット ブライリー ベル フリュアー (VG86-10*) で、先のカナダ能力チャンピオンである。彼女はブラックスターの娘 クワイエットコーブ スター ファンタ ET (VG88-15*) を母に持ち、1987年の4歳級リザーブ オール アメリカンであるバリエーション娘牛 クワイエットコーブ バリエーション ファウン (EX95-2E-USA-GMD-DOM-10*) へ続く。

ウィンドブルックの母は高く称賛されているジレット ブリッツ セカンド ウィンド (VG88-35*) である。ブリッツを父に持つセカンド ウィンドは、ホルスタイン カナダの 2011年「カウ オブ ザ イヤー」を最近獲得した。彼女は数多くのトップ種雄牛を生産してきた世界的に有名なカウファミリーから来ている。彼女の母はブレードール セカンド カット (VG86-23*) で、このストームによる娘牛は、2007年のカウ オブ ザ イヤーで 200H3205 ブレードール ゴールドウィン (GP-Extra) の母であるブレードール ベーラー トワイン (VG86-32*) とフル姉妹である。セカンド ウィンドの祖母はかの有名な 2003年カウ オブ ザ イヤー、ブレードール ジブシー グランド (VG88-37*) である。

直前に分娩した 2 歳級としてセカンド ウィンドは、2004 年のトリプル クラウン フォール エディション セールにおいてトップセールである三万ドルでティーウェーブ ホルスタインズの山田敏明氏とファーム ジレットのパテノード家族に落札された。セカンド ウィンドは GLPI/LPI 雌牛リストにおいて上位 10 位内に 2005 年 5 月から 2010 年 4 月まで 5 年続けてランクインした。彼女はカナダの LPI 雌牛リスト第一位を 6 回獲得し、体型リストで 4 回、乳量リストで 3 回第一位となった。彼女は 2 歳で乳量 17,734 kg、脂肪 3.6% 645 kg、蛋白 3.0% 536 kg (372-354-348) を記録した。セカンド ウィンドはまた、2005 年のケベック スプリング ショウのジュニア 3 歳クラスにおいて二位でベストアダマーを獲得し、ショウリングでも戦える能力があることを証明した。

セカンド ウィンドは今日において 5 頭のクラス エクセレント種雄牛の母である。ウィンドブルックに加え、この堂々たるリストにはウィロック、ワイルドシング、スタンリーカップ、ウィンドハンマーがいる。彼女はまた、2 頭のスーパーリアー タイプ種雄牛と、1 頭のスーパーリアー プロダクション種雄牛の母でもある。セカンド ウィンドにはカナダ国内に 15 頭のベリーグッド (VG) 娘牛と、7 頭のエクセレント (EX) 及び 4 頭のベリーグッド (VG) 息牛がいる。彼女の 17 頭の経産娘牛は、平均で乳量 17,626 kg、脂肪 3.7%、蛋白 2.9% (333-331-312) を記録する。彼女の多くの娘牛及び孫娘牛が GLPI 雌牛リストで上位に位置する。セカンド ウィンドのボルトン娘牛、ジレットボルトン セカンド スリープ (VG89) は 2010 年 4 月及び 8 月に GLPI 雌牛トップに輝き、2011 年 8 月には体型でトップになった。セカンド スリープのプラネット娘牛、ジレット S プラネット セカンド スヌーズ (VG86-2yr) は、昨年 12 月 GLPI 雌牛リストで第二位になった。

一貫性

2005 年 5 月 LPI 雌牛リストでナンバーワンになる直前、セカンド ウィンドはエフビーアイで採卵された。シーメックスがその採卵で最初の選択権を持っていた。シーメックスのサイアーアナリストでウィンドブルックの父エフビーアイを同じく発掘したジュリアン シャボーは、2006 年 1 月 8 日に誕生した雄仔牛を選択した。ウィンドブルックは現在イーストジェンのオンタリオ州ケンプトビルにある種雄牛施設に居を構え、6 歳になった現在も健康で暮らしている。

ウィンドブルックはヤングサイアーとしてオンタリオ州南西部 (前のジェンコア地域) で後代検定にかけられた。彼は 1 歳の時に VG86 を得た。2009 年 4 月には EX に格上げされた。生まれながらに優れた雄牛であるウィンドブルックはその後も得点を伸ばし続け、2011 年 12 月には EX95 を獲得した。

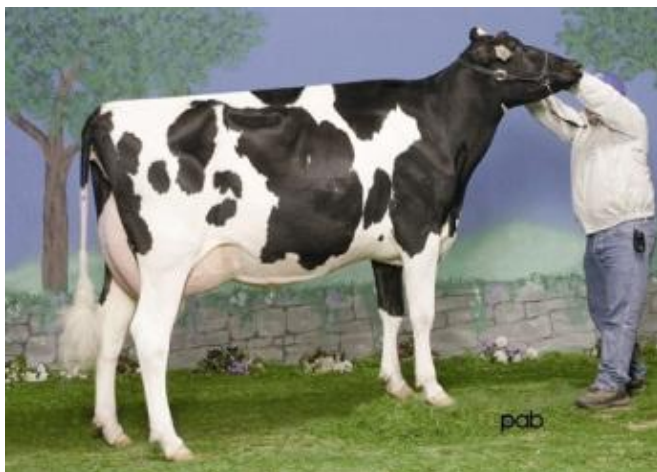
ウィンドブルックは 2010 年 12 月に最初の公式成績を得た。新しい種雄牛中トップであった彼は、体型+20 でホルスタイン牛の体型リーダーとなり LPI 第 3 位でデビューし、直ぐに注目を集めた。彼が持つ幅広いペディグリー、体型の評価、そして全体的な実力は、この新しいクラス エクセレントの種雄牛を酪農家が探し求めているものへ作り上げた。当時ジュリアン シャボーは次のように話している。「ウィンドブルックは正しい血統が見事に掛け合わさった種雄牛であり、珍しいエフビーアイ息牛として非常に貴重な種雄牛になるだろう。ウィンドブルックの母セカンド ウィンドを一度でも見たことのある人なら、ウィンドブルックの娘牛にセカンド ウィンドを重ね合わせる。ただしその娘牛達は、エフビーアイから受け継がれた強さと長さを持っている。」

最初の成績が発表されて以降、ウィンドブルックは再び体型のリーダーとなった（2011年12月）。彼は体型ランキングで四位以下に外れたことがない。彼はLPIでも上位11位以内に留まり、最高で2011年4月に第二位となった。ウィンドブルックは現在GLPI+2198で第11位に位置し、その成績は乳量+1031kg、脂肪+66kg（+0.27%）、蛋白+44kg（+0.09%）、娘牛数149頭に基づく。彼は体型+16で第3位である。彼の体格審査を受けた娘牛134頭の内80%がグッドプラス（GP）以上で、1頭がエクセレント（EX）、31頭がベリーグッド（VG）、そして75頭がグッドプラス（GP）である。彼が健康・繁殖形質のいくつかにおいて他の形質ほどの成績を持たない一方、彼の149頭の経産娘牛は成牛換算（ME）で平均乳量11,714kg、脂肪3.8%、蛋白3.2%（221-230-224）を記録する。※

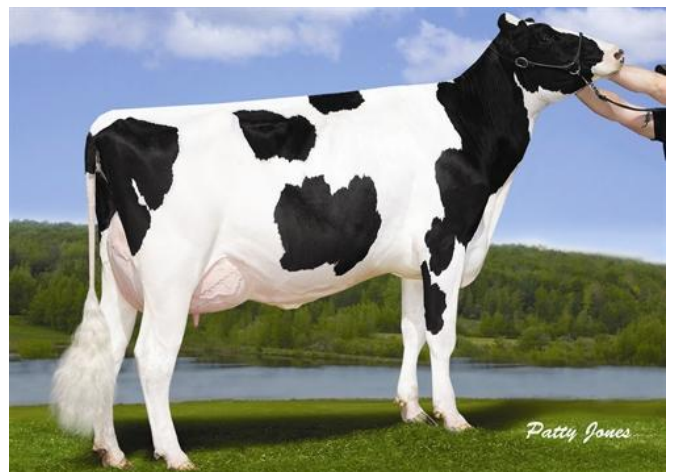
「ウィンドブルックの長所と短所に関する私の評価は、彼が市場に出回り始めたころから変わっていない」と、イーストジェンのジェネティック サポート スペシャリストであるジム ビガーは話す。「彼は幅と強さ、高く幅のある後乳房、そして素晴らしい肢蹄を持った牛を一貫して作出する種雄牛である。二度目の分娩を終え泌乳ステージが進むにつれてたった一つ変わってきたことは、彼女たちがより良くなっていることである。二産目の彼女たちは、並外れたフレームをし、非常に開張した肋と鋭角性を持つ牛へと成長している。ウィンドブルックはフレームに強さを必要とする輪郭鮮明で雌牛らしく乳用性に富んだ牛と最も相性が良く、例えばインクワイアーや、ゴールドウィン、ストーマティック、チャンピオン等の血液に掛け合わせると良い。」

シーメックスのサイアー アナリスト、マイク ウェストはこの意見に同意する。「私が思うにウィンドブルックは、ファーストクロップ娘牛から得る我々の期待に答えるだけでなく、それ以上のものを持つ種雄牛である。我々が最初に彼の娘牛を見始めたとき、彼が将来的に何か特別な牛達を生産するだろうと直感した。しかし、その娘牛達が二産目の泌乳後期を迎えより充実してくる様子や、各牛舎でセカンドクロップの仔牛を見るにつれ、彼がいくつかの本当にスペシャルな牛を作ると確信している。ウィンドブルックのペディグリーは彼をどの牧場でも使える種雄牛にするが、現場に見られる結果は彼がどの酪農家にとっても魅力的である類の牛であることを表している。」

後編へつづく...



ジレット ブリッツ セカンド ウィンド VG88



ジレット S プラネット セカンド スヌーズ VG86